

## 会員の頁

1. オフィス向け置き型吸音材「CORNER TONE(コーナートーン)」のご紹介
2. 令和8年見学会 (DAIKEN 音環境ラボラトリー) 開催報告

### 1. オフィス向け置き型吸音材 「CORNER TONE(コーナートーン)」 のご紹介

高田 梨名 (TAKATA Rina)  
DAIKEN 株式会社

#### 1. はじめに

近年のオフィス内装において、意匠性や空間設計上の観点から、岩綿吸音板やタイルカーペット等の吸音材を用いない事例が増加しています。その結果、竣工後において「会議室内の音が響きすぎて会議がしづらい」「オンライン会議で相手に言葉が聴き取りづらいと言われる」等の音環境についての問題が生じ改修工事が必要となるケースも少なくありません。このような背景を踏まえ弊社では、改修工事を伴うことなく音環境を改善する『CORNER TONE』を昨年10月に発売しました。(写真1)製品の特長や当社の住宅防音室向けの置き型音響調整部材「サウンドトロン」との違い、音と見た目の効果についてご紹介します。

#### 2. 仕様

コーナートーンは、サウンドトロンをベースに話声により吸音効果が得られるよう改良を加えました。ま

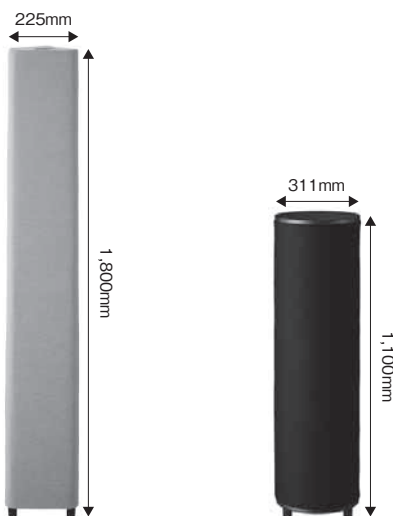


写真1 左：CORNER TONE 右：サウンドトロン

た、オフィス空間に馴染みやすいデザインを目指し、形状は部屋の隅に収まる三角柱型、カラーは流行のグレイージュ色としました。

製品の転倒軽減対策として、壁付けのホルダーおよび本体を連結するベルトを用意しました(別売)。

オフィスで想定される壁仕様(石こうボード、スチールパーティション、ガラスパーティション)に対し3種類をラインナップしました。(写真2)

	CORNER TONE	サウンドトロン
発売日	2025年10月23日	2022年6月21日
価格	¥148,200/梱(2本入) ¥220,000/梱(3本入)	¥49,100/梱(1本入)
サイズ/色柄	225×225×高さ1,800 mm /1色	直径311 mm×高さ1,100 mm /2色
製品特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・オフィス向け</li><li>・500 Hz, 1000 Hzで高吸音</li><li>・隅に収まるシンプルで馴染むデザイン</li><li>・スタンディングデスクにも対応する高さ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・住宅用防音室向け</li><li>・低音域～高音域まで高吸音</li><li>・高級感や重厚感をイメージしたデザイン</li><li>・椅子に座ったときの高さに対応</li></ul>



写真2 専用ホルダー 使用イメージ

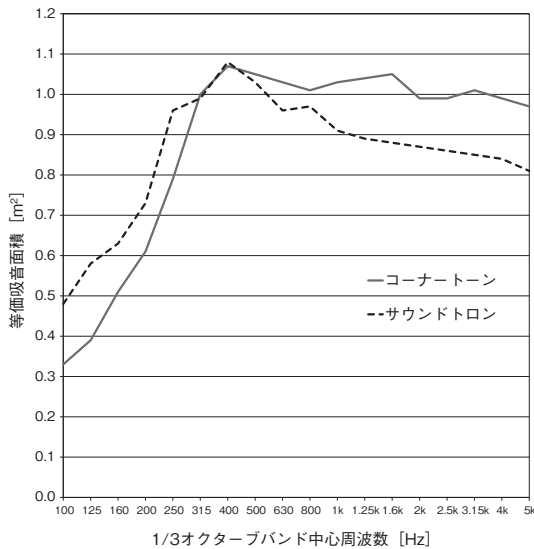


図1 コーナートーン・サウンドトロン1本あたりの等価吸音面積

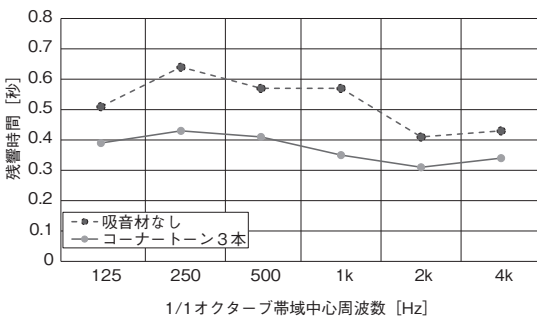


図2 会議室に設置した際の測定事例

### 3.2 製品高さ

製品高さを1,800 mmにすることにより、立った状態での会議やハイチェアに座って作業する際も耳の高さに吸音材があるので様々なワークスタイルで音環境の改善効果を発揮します。

### 3.3 デザイン

サウンドトロンは防音室向けに開発されており、形状、見た目は高級感を演出できるよう設計しています。それに対しコーナートーンは、オフィス向けとして会議室等の空間に馴染みやすいデザイン性を目指すため、部屋の隅に収まるコンパクトな三角柱の形状と、流行のシンプルなグレーージュ色でどんなインテリアにもなじみやすい空間に溶け込むデザイン性を実現しました。



写真3 会議室設置イメージ

## 3. 製品特徴

### 3.1 吸音特性

サウンドトロンは住宅用防音室(オーディオやピアノ演奏室等)向けとして低音域~高中音域を吸音するのに対し、コーナートーンは主に中音域~高音域、特に話し声に適した吸音性能となるよう500~1,000 Hzにおいて十分な吸音性能を有します。(図1)

図2に反響が多い会議室にコーナートーンを設置した際の残響時間の測定事例を示します。天井が木毛セメント仕上げ、壁がガラスパーティション、床はタイルカーペット、体積32.1 m<sup>3</sup>の会議室では残響時間が約0.6秒で反響が気になっていましたが、ドア開口部以外の隅にコーナートーンを3本置くだけで、約0.4秒に抑えられ、理想的な響きになります。



写真4 個室ブース設置イメージ



写真5 実証実験を行った会議室の様子

#### 4. アンケート調査

##### 4.1 調査方法

会議室において、3通りの会議を想定し、20代～60代の男女41名にアンケート調査を行いました。①座った状態での対面会議②立った状態での対面会議③WEB会議の3パターンにおいて、コーナートーンを設置したときの音と見た目の印象がどのように変化する

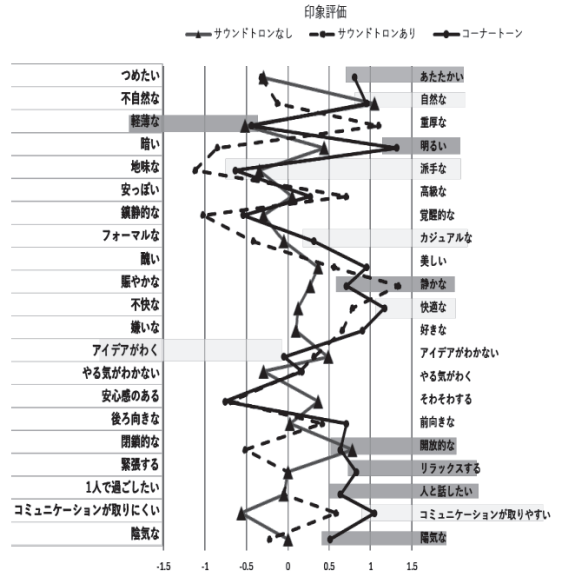


図5 見た目評価の結果グラフ

るかをアンケート方式で評価しました。

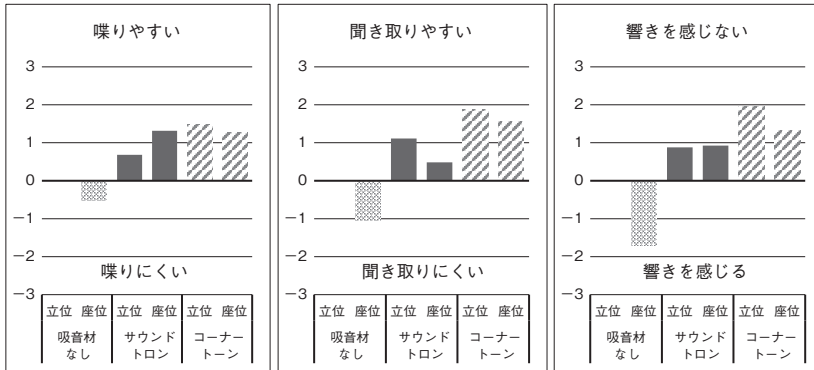


図3 音の評価の結果グラフ

##### 4.2 音環境の改善効果

音環境の改善効果に関するアンケート項目は3項目で「喋りやすさ」「聞き取りやすさ」「響きを感じたか」を7段階で評価した結果、3項目すべてにおいて有意差を確認できました。さらにスタンディングの会議ではコーナートーンがサウンドトロン以上に効果を発揮すると評価され、オフィス

に適した吸音材であることを確認できました。

WEB会議想定の実験ではアンケート項目は2項目で「聞き取りやすさ」「響きを感じたか」を7段階で評価した結果、2項目すべてにおいて有意差を確認できました。

##### 4.3 意匠変化による印象評価

見た目の効果に関するアンケート項目21項目を7段階で評価しました。「あたたかい」「明るい」「快適な」「開放的な」などオフィスでの快適性につながる項目や「人と話したい」「コミュニケーションがとりやすい」「アイデアがわく」などのオフィスでの生産性につながる項目で効果ありと評価されました。

空間に溶け込むデザイン性を実現したことでオフィ

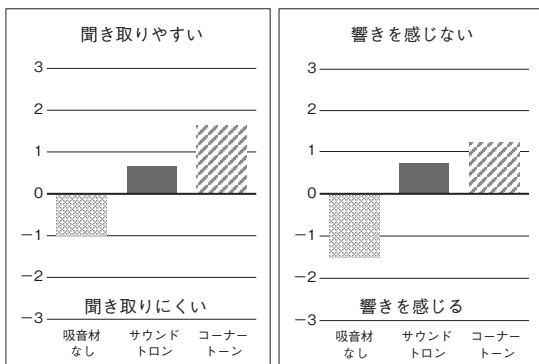


図4 音の評価の結果グラフ (WEB想定)



写真6 OFF TONE(オフトーン)採用事例



写真8 「音ラボ」外観



写真7 RIB TONE(リブトーン)採用事例

ス空間の意匠性を高めるだけでなく、オフィスでの快適性や生産性に繋がる、見た目・形状に関して高い評価を得ました。

## 5. おわりに

当社では、オフィスの音環境改善のアイテムとして、後付け可能な壁面吸音材「OFF TONEマグネットパネルN」や内装を木質化させつつ音を拡散し音環境を改

善する「RIB TONE」など音響調整材を各種取り揃えています。

オフィスや公共・商業施設の音環境改善が求められる際はご紹介したコーナートーンをはじめ利用シーンに合わせてご活用いただければ幸いです。

また当社は、次期長期ビジョン「TryAngle2035」で掲げる、10年後のありたい姿「ずっと こちいいね」の実現に向けて、あらゆる人、あらゆる空間の快適性の向上を目指しています。

この一環として、快適な音環境の普及に向けた音のコト提案ビジネス「音環境ソリューション事業」に注力しており2025年11月に、新たな音響技術の開発拠点である『音環境ラボラトリー(音ラボ)』を当社岡山工場の敷地内に新設いたしました。

今後、『音ラボ』の活用により、さらなる測定・分析技術の向上に取り組むとともに、より高性能な建築音響製品や、音に関する新技術、および新素材の開発に向けた研究を進め、快適な音環境の創出に取り組んでまいります。